

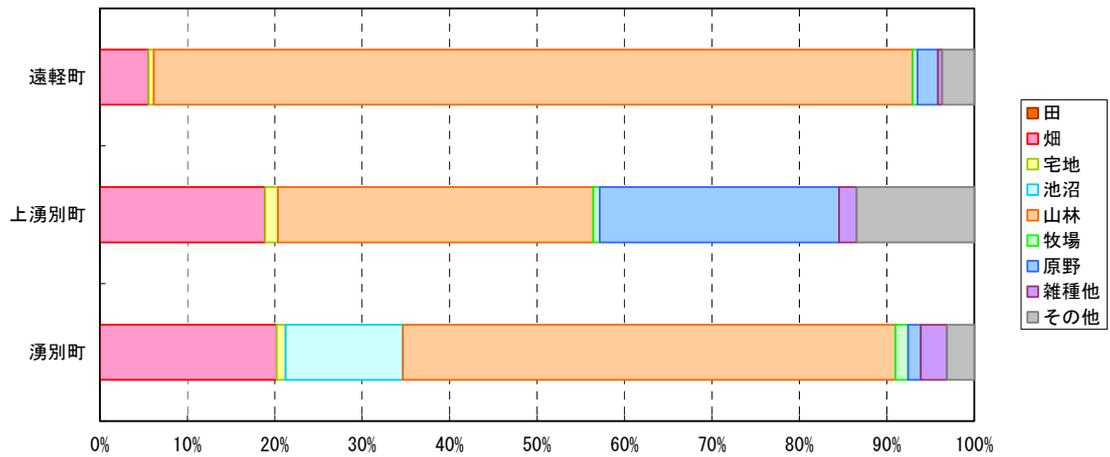
3. 流域の社会条件

3-1 土地利用

流域自治体の土地利用の状況は、以下のとおりであり、総面積 1,891.09km²のうち、山林の占める割合が約 75%で最も多く、続いて農用地の約 10%となっている。

山林は上流の遠軽町で総面積の約 87%に対し、中下流域の上湧別町は約 36%、湧別町は約 56%となっている。

農用地は遠軽町で約 6%、上湧別町及び湧別町では約 20%となっており、水田の比率は小さく大半が畑作地・草地である。



※遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村は平成17年10月1日に遠軽町として市町村合併した

出典：平成17年北海道市町村勢要覧（平成15年1月1日）

図 3-1 流域自治体の土地利用状況

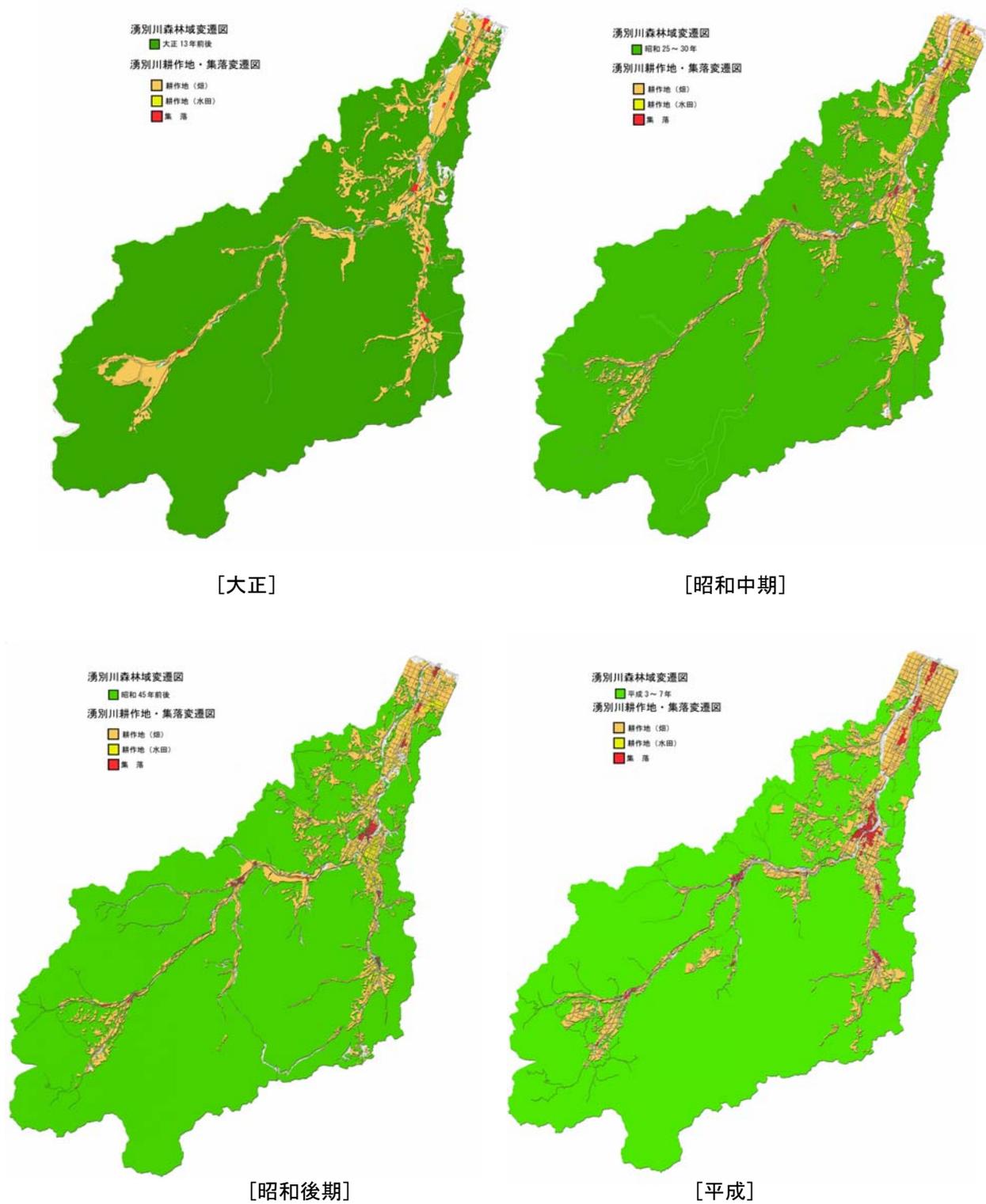


図 3-2 土地利用の経年変化

3-2 人口

湧別川流域は、遠軽町、上湧別町、湧別町の3町からなる。流域関係町村の総人口は平成17年では34,736人となっており、昭和28年からの推移は表3-1のとおりであり、約46%の減少となっている。市町村別の昭和28年に対する平成17年の増減比は、遠軽町で約39%の減少、上湧別町で約47%の減少、湧別町で約64%の減少となっており、現在も減少傾向にある。

※遠軽町は平成17年10月1日に遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村が合併したため合計値とした。

表 3-1 流域内人口

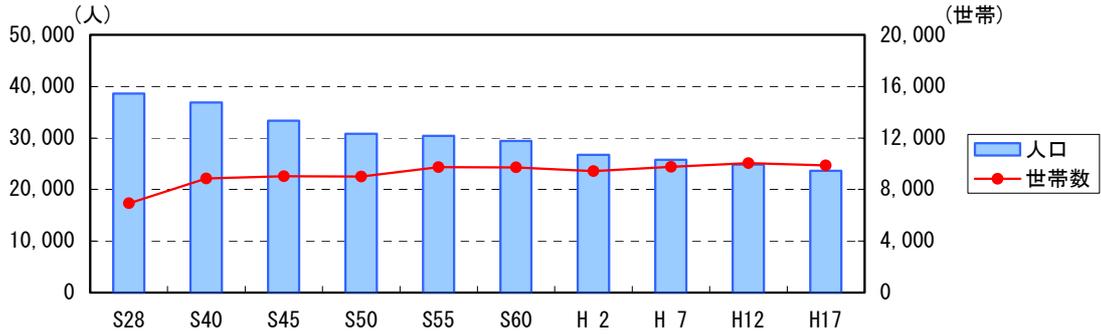
区分	湧別町	上湧別町	遠軽町	3町合計
面積 (km ²)	344.35	161.39	1,332.32	1,838.06
総人口 (人)	5,260	5,841	23,635	34,736
世帯数 (世帯)	1,759	2,335	9,869	13,963
人口密度 (人/km ²)	15.3	36.2	17.7	18.9

※1 面積の出典：平成17年北海道市町村勢要覧（平成15年1月1日）

※2 総人口、世帯数の出典：平成17年国勢調査（平成17年10月1日）

※3 遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村は平成17年10月1日に遠軽町として市町村合併した

遠軽町



※遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村は平成17年10月1日に遠軽町として市町村合併した

(出典：国勢調査)

図 3-3 遠軽町の人口・世帯数の推移

上湧別町

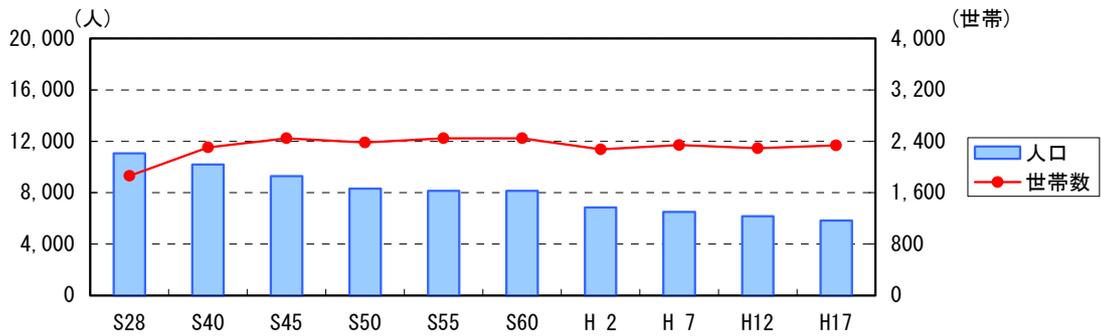


図 3-4 上湧別町の人口・世帯数の推移

(出典：国勢調査)

湧別町

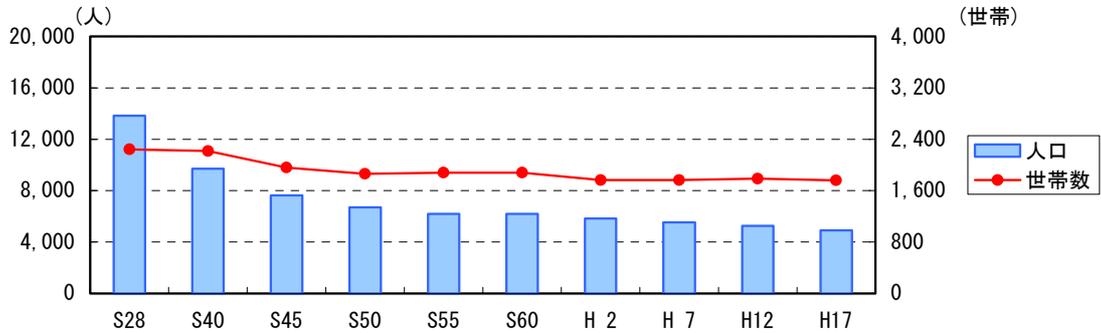


図 3-5 湧別町の人口・世帯数の推移

(出典：国勢調査)

全体

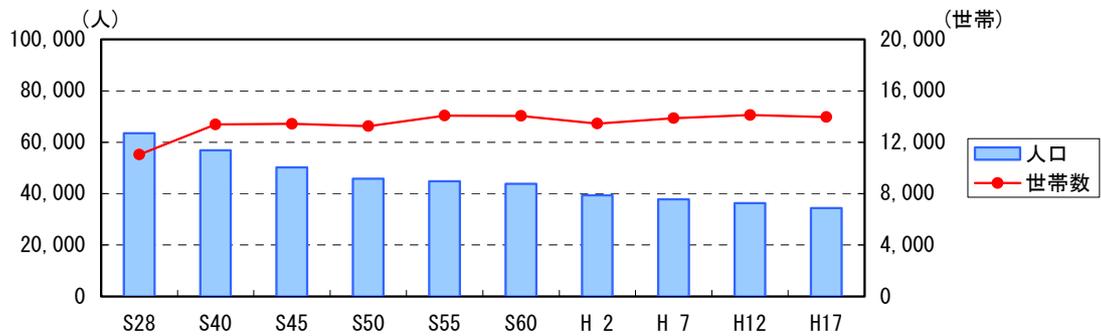


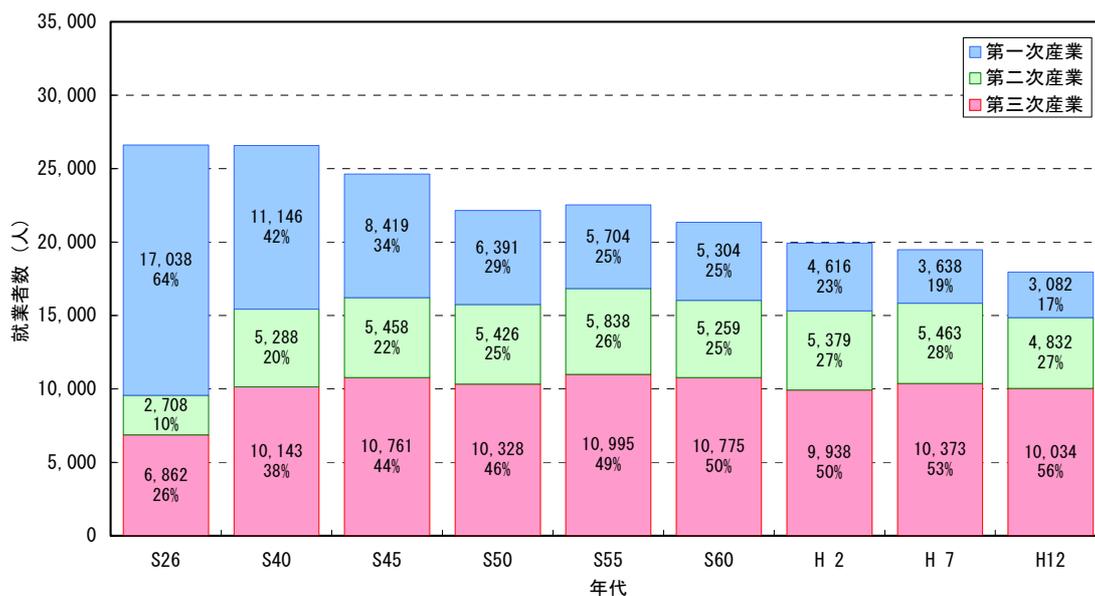
図 3-6 流域関係市町村の人口・世帯数の推移

(出典：国勢調査)

3-3 産業・経済

流域内の産業別就業人口の推移を見ると、流域の産業は農林業を主体とし、河口の湧別町では漁業も盛んであったが、近年の第一次産業の衰退により、第一次産業人口が昭和26年に比べ平成12年では17,038人から3,082人と約18%に減少しているが、第二次産業は約1.8倍、第三次産業は約1.5倍と高い伸びを示している。

第一次産業就業人口を市町村別で見ると、湧別町で比較的高く約45%となっているが、上湧別町で約20%、遠軽町で約10%程度である。第二次産業就業人口は各市町村とも21%から31%程度となっており、第三次産業就業人口は、遠軽町で高く約63%となっている。その他、上湧別町で約49%、湧別町で約34%程度と比較的高い比率を占めている。



出典：北海道市町村勢要覧

図 3-7 産業3部門別就業者数の推移

表 3-2 産業別就業人口と構成比

(単位:人)

市町村	区分			総数
	第一次産業人口	第二次産業人口	第三次産業人口	
湧別町	1,297	596	965	2,858
	45.4%	20.9%	33.8%	100.0%
上湧別町	607	970	1,526	3,103
	19.6%	31.3%	49.2%	100.0%
遠軽町	1,178	3,266	7,543	11,987
	9.8%	27.2%	62.9%	100.0%
全道	217,908	602,859	1,881,089	2,701,856
	8.1%	22.3%	69.6%	100.0%

※1 下段は構成比率(%)

※2 出典：平成17年北海道市町村勢要覧(平成12年10月1日)

※3 遠軽町、生田原町、丸瀬布町、白滝村は平成17年10月1日に遠軽町として市町村合併

3-4 交通

産業の基盤となる幹線交通系統のうち道路網は、オホーツク海沿いを結ぶ国道 238 号線、湧別町から湧別川に沿って遠軽(生田原)を通り常呂川流域の置戸、帯広方面へ通じる国道 242 号線、遠軽から旭川方面に通じる国道 333 号線があり、オホーツク各都市間と道内各地を結ぶ交通体系に貢献している。

一方、鉄道網は、道央圏とオホーツク沿岸を結ぶ JR 石北本線はオホーツク地方の物資輸送に大きな役割を果たしている。

現在、旭川と紋別を結ぶ高規格幹線自動車道の建設が進められている他、遠軽と北見を結ぶ地域高規格道路整備の計画が進められており、流域のさらなる発展が期待されている。

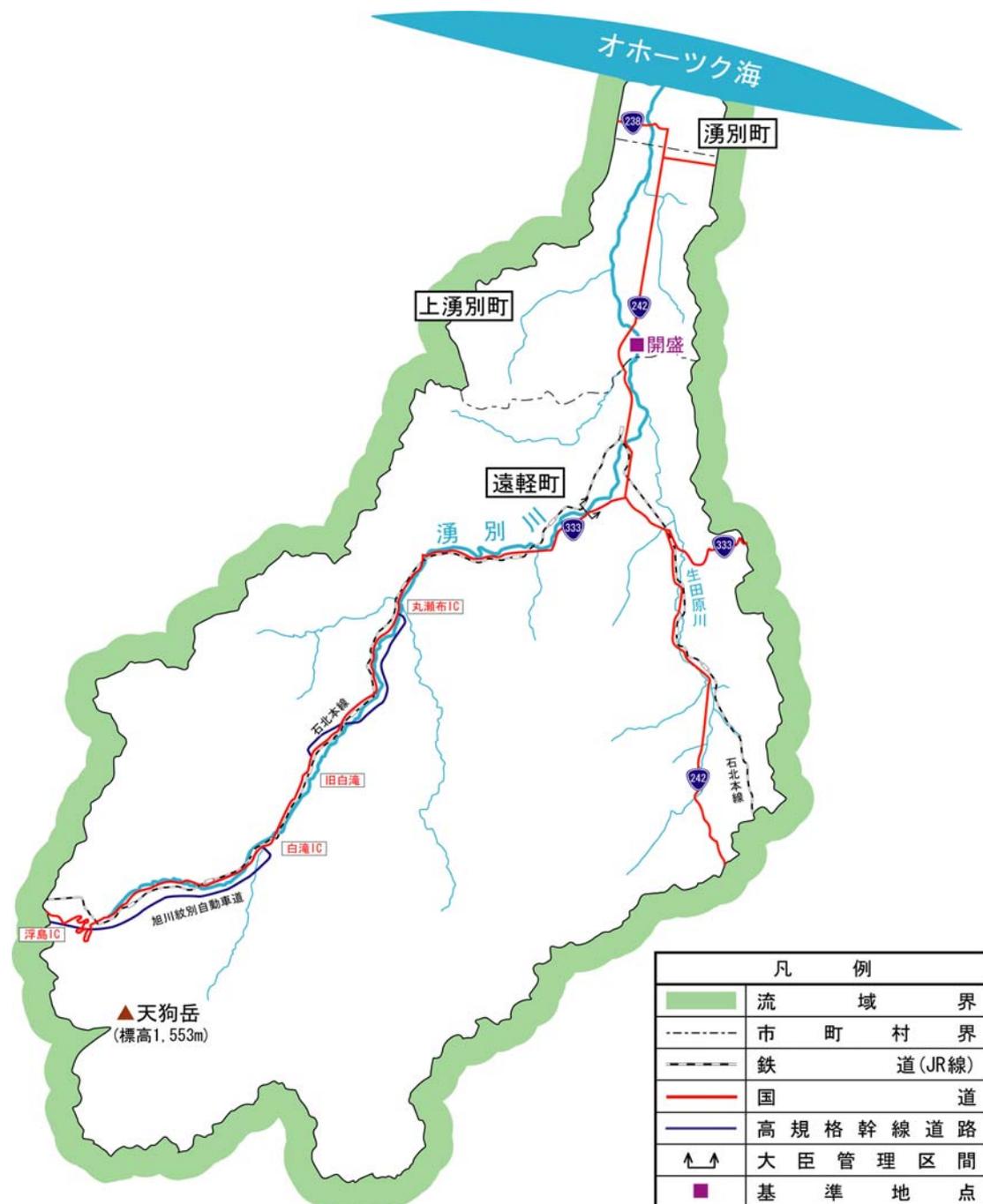


図 3-8 湧別川流域における道路・鉄道網位置図

3-5 関係ある法令の指定状況

3-5-1 第6期北海道総合開発計画

北海道総合開発計画は、行政改革や国際化、地球環境問題への知見の集積等の大きな情勢の変化を受け、地球規模に視点をおいた食料基地、北の国際交流圏の形成、観光・保養基地の形成や北海道が有する美しく雄大な自然環境の保全、安全でゆとりのある生活環境の創造を目的としている。

これらの目的を重点的・効率的に推進してゆくための一方針として広域的・複合的な地域プロジェクトの推進を掲げており、複数の市町村が連携を図り、総合的に取り組むプロジェクトを支援してゆくものとしている。この地域プロジェクトの中には、河川事業に直接あるいは間接的に関連するものも少なくない。

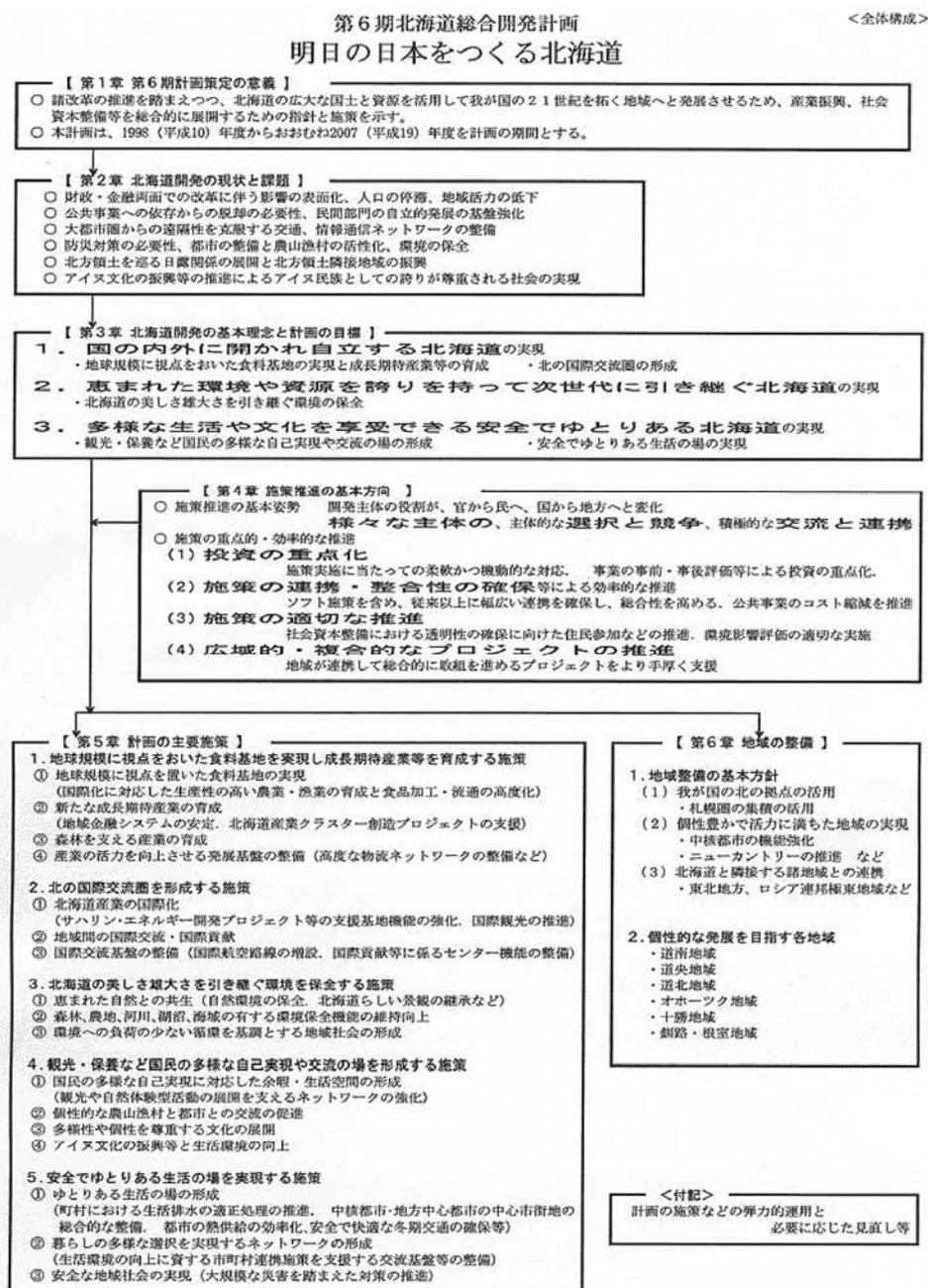


図 3-9 第6期北海道総合開発計画

(出典:北海道局 HP)

3-5-2 都市計画

湧別川流域は、遠軽町・上湧別町・湧別町の3町となっている。流域の上流に位置する遠軽町は、平成17年10月1日に生田原町、丸瀬布町、白滝村を併せ、新遠軽町として合併したが、そのうち1,985haが都市計画区域に指定されている。

なお、上湧別町・湧別町は、都市計画区域が指定されていない。

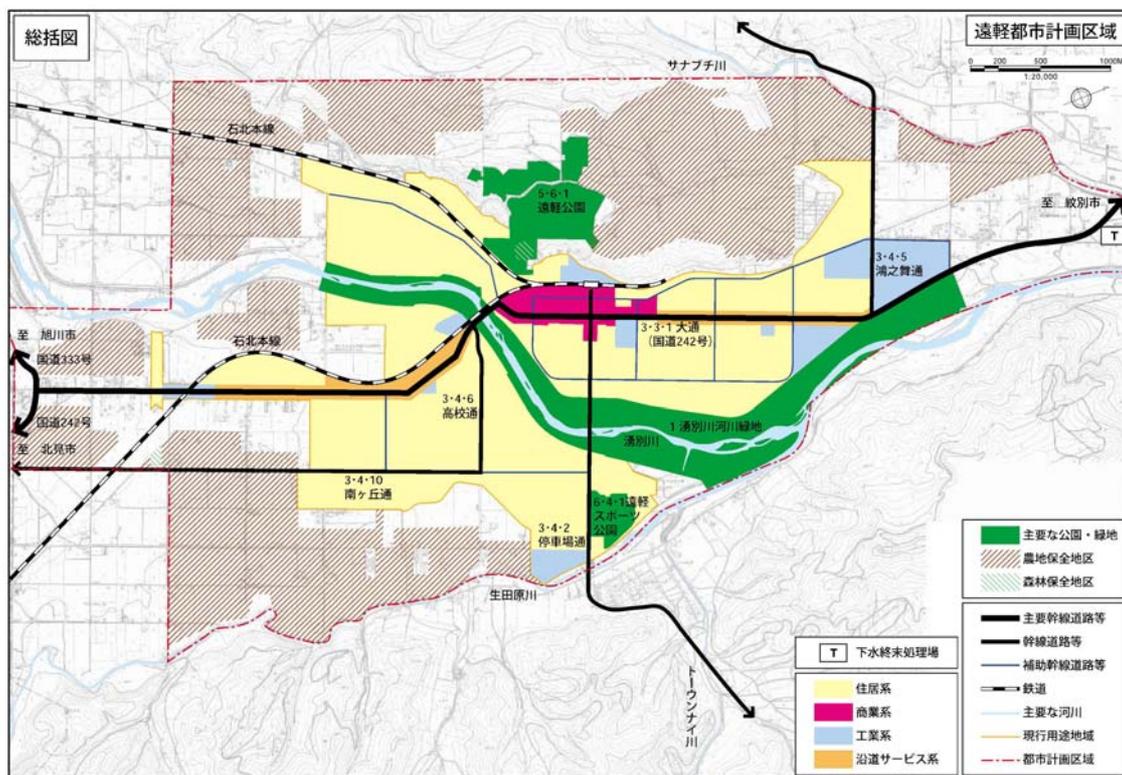


図 3-10 遠軽町 都市計画図